

発行所：公益社団法人 日本鉄道広告協会
〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階
TEL：03-5791-1808 FAX：03-3443-1616 メールアドレス：information@j-jafra.jp
URL：<http://j-jafra.jp/>

巻頭レポート

インパクトある仕掛けで交通広告からSNS拡散 話題性を追求した日本中央競馬会(JRA)のOOH

1954年に設立された日本中央競馬会(以下JRA)は、昨年創立60周年を迎えました。首都圏では、東京競馬場と中山競馬場の2ヶ所で競馬を開催していますが、JRA最大規模の競馬場が京王線府中競馬正門前駅より徒歩2分にある東京競馬場です。

東京競馬場では、通常一年に8回GIレースが開催されています。その中でも、「日本ダービー」「天皇賞(秋)」「ジャパンカップ」は、競馬ファンのみならず競馬に関心が低い人たちでもそのレース名は聞いたことがあるのではないのでしょうか。一日で10万人を超える来場者が訪れるビッグレースで、多くの人たちが電車を利用して来場されます。

今回は、そのGIレースに合わせて、京王線を中心に展開されている交通広告展開についてご紹介いたします。

☆☆☆☆



京王線で東京競馬場へ行こう
タイアップポスター

競馬場への沿線住民の来場促進のため、京王電鉄とタイアップ。東京競馬場はその広さだけでなく、場内の遊具やレストラン等の各種施設も日本最大規模です。JRAでは以前から地元自治体の各種行事への協賛等で地元の競馬ファン以外の層に対する来場促進を図っていましたが2011年秋より、京王電鉄とタイアップして「京王線で東京競馬場へ行こうキャンペーン」をスタートしました。より多くの京王沿線住民、特にファミリー層や競馬初心者に東京競馬場に電車を利用し来場してもらうことを狙いとして、中づりや駅



タイアップ駅ばり

タイアップ中づり

ばりポスターで東京競馬場で開催されるイベントの告知や初心者向け競馬セミナー開催の案内を行いました。このタイアップは、年2回(春・秋)のペースで継続中です。新たに東京競馬場を訪れる人も増えたそうです。

ジャック型の 純広告へ発展

さらにJRAは、東京競馬場で開催されるGIレースへの更なる集客増を図るため、2013年春の日本ダービーから京王線での大型交通広告展開を始めました。京王線の主要駅である新宿駅・渋谷駅、電車内におけるレース告知をメインとした駅・車両ジャック型の交通広告です。

駅は駅ばりポスター、ラッピング広告を中心に、車両は中ぶりや貸切電車（アド・ギャラリー）等に、いずれもジャック型の展開をすることでインパクト効果を高め、視認率を高めると同時に、GIレースへの興味喚起を狙ったものです。



京王線新宿駅



井の頭線渋谷駅



貸切電車(アドギャラリー)



貸切電車(アドギャラリー)の外観

京王グループとも タイアップ 最寄駅の利用者も 増加

また、この大型交通広告展開では、京王グループ施設（啓文堂書店やカレッシュOPP C&C等）での連動プロモーションも同時展開しています。このタイアッププロモーションに加え、競馬場では味わえない感動を表現したコピーワークや、京王線のアクセス表現を強化したことなどにより、更なる来場モチベーションの向上が図れ、2014年の日本ダービー当日の府中競馬正門前駅の利用者は、2013年の日本ダービー当日のそれより約5%アップしたそうです。



京王百貨店(新宿店)屋上ピアガーデン：
JRAキャラクターのターフィーがグリーティング



啓文堂書店:オリジナルブックカバーとしおり



カレッシュOPP C&C:
コラボメニュー「デミカツカレー」

新宿街頭プロモーションでさらにパワーアップ

2014年春からは実在した競走馬を模した馬像を駅構内に設置し、実際に馬像にまたがり騎手の疑似体験をしてもらえる体感型のプロモーションも行っています。この試みは、小田急線新宿駅、西武新宿駅前ペレ広場、新宿駅南口フラッグス前でも実施されました。



京王線新宿駅イベントスペースの馬像

同時に行われた「Shinjuku Derby Festival」でも統一したビジュアル表現を採用、新宿駅周辺を日本ダービー一色に染め、様々なメディアやSNSでも話題となり大きな相乗効果を生み出した。Twitterのフォローを

含めると約42万人にこの告知活動の話題が拡散されました。

さらに、井の頭線渋谷駅に加え



新宿東口で行われた「新宿ダービーフェスティバル」



新宿 K-DG ピリエ



渋谷 K-DG ウェーブ

2014年4月から本格稼働を始めた京王線新宿駅・吉祥寺駅のデジタルサイネージにも出稿、多くの駅利用者による動画による広告訴求も行いました。



吉祥寺 K-DG バナー：特徴であるヨコ12面を効果的に活用した意匠

京王線利用者からは期待感

京王線におけるビッグレースの大規模交通広告展開は、京王線利用者にとって定着し、期待感を持って迎えられるています。SNS上では「今年もダービーの告知が始まった」「今年は本気のお祭りだね」といったコメントが掲載され、交通広告を楽しみにしている人も数多いことが分かります。すでに京王線利用者にとっては、ビッグレースの到来を告げる風物詩となっているのではないのでしょうか。

今年の5月は、京王線に乗って芝生の緑が鮮やかな東京競馬場をご家族・ご友人と訪れてみてはいかがでしょうか。



東京競馬場のメインスタンド

広場

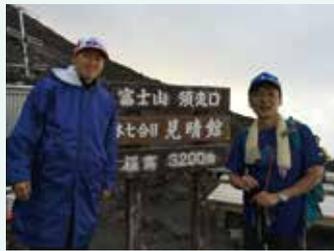
「富士登山」

常任理事 阿部 晋治 (株式会社電通)

昨年の夏に富士山に登った。別に登山が趣味というわけではない。大正14年に始まり87回目となった会社の行事に参加したのである。

須走^{すばしり}浅間神社で安全祈願をした後、15時30分に新入社員を中心とした340名が登山を開始。須走口5合目(2000m)から頂上(3776m)まで、東京スカイツリー約3本分を登ることになる。30年近く前、新入社員の時には3時間半で登頂できた記憶と、週1〜2回ジムに通っていることもあり、何とかなるだろうと考えていたが、登り始めて5分であつたことを後悔した。ただひたすらの上り。平坦な場所は皆無である。少し歩いては立ち止まり、「肩で息をしている」と、男女問わず新入社員にどんどん抜かれていく。「6合目(2400m)まで2000m」という看板に一瞬元気が出たが、距離では無く標高差だった。まだ高層ビル一棟分あつた。

本7合目(3200m)に辿り着いた時に、1人目の登頂者が出たと聞いた。2時間で登つたらしい。数分違いの2人目は私と同世代のトライアスリート(趣味)だった。



本7合目まではTシャツ

19時過ぎに8.5合目(3500m)の山小屋に到着。頂上の山小屋は先着120名までとのこと、ここで仮眠を取ることにした。ビールとおにぎり弁当を食べ21時に寢床に就いたが、隣の人とほぼ密着している状態なので寝がえりを打つことも躊躇ってしまう。我慢できずに少し体勢を変えたら疲労で足全体が攣った。

結局一睡もできずに午前2時に山小屋を出たところで驚いた。山の下の方まで無数のライトが一列に連なっている。我々同様ご来光を拝むため登山している人達のライトだった。富士山が世界自然遺産に登録されたこともあり、登山者が増えていることは事前に聞いていたものの、深夜の登山渋滞は意外であり、海外からの登山者も数多く見受けられた。渋滞で非常にゆっくりとしたペースとなったため、一番きつい9合目(3600m)以降も問題なく進む事が出来た。初めから焦らず、もっとゆっくり登れば良かったと思う。午前3時半に山頂に着いた。サポート



雲海の彼方からご来光が

をしてく

れている同僚の出迎えが嬉しかった。登り始めた時は半

袖Tシャツでも汗だくだったが、頂上ではダウンジャケットを着用。気温は7〜8℃位である。寒さの中で待つこと1時間程で、東の空が白み始めた。少し雲はあつたが遮るものは勿論何も無い。4時40分頃、ご来光を拝みながら皆で万歳三唱をし、取引先の繁栄と発展を祈念した。苦勞して登つたこともあるのか非常にスプリチュアルな空間・時間に感じられた。これも富士山信仰に繋がるのだろうか。

下山も決して楽ではなかった。小石に滑らないよう踏ん張って歩くため、太腿がパンパンになる。体力の衰えを痛感させられた。

翌日は猛烈な筋肉痛で二度と登りたくないと思つた。ところが時が経ち、富士山を見る度に、あの山に行つたという思いと、また登つてもいいかなという思いが起きている。

やはり富士山は偉大である。



雲の下まで一気に下る



山頂で同僚3人と

次回もお楽しみに。

第2回理事会を開催しました

2014年11月27日(木)ジェイアール東日本企画10F大会議室において21名の理事が出席し開催した。

冒頭に今木会長から次の挨拶があり、それに引き続き審議が行われた。議事内容は以下の通り。

今木会長挨拶

理事、監事の皆さまには、平素から当協会のために何かとご尽力を賜りありがとうございます。また本日は、お忙しい中をご出席いただき重ねて御礼申し上げます。今年も残すところあと1か月というただでさえ慌ただしい時期に加えて、突然総選挙が重なってまいりましたが、この時期を乗り切ってまた新しい年を迎えたいと思います。

ご覧になられた方も多いかと思いますが、先日のプレス発表によると、2014年1月からの訪日外国人の数は10月で既に1100万人余となり、過去最高だった2013年1年をほぼ上回ったと報道されました。各観光施設や商業施設などで、これに対応しようと官民挙げての様々な努

力がなされているわけです。私共鉄道広告に携わる者としても、世界に冠たる日本の鉄道の車両、或いは駅の空間をより美しく美的で文化的なものにすべく、一層の努力が必要ではないかと感じております。本日は6月の総会で決定いただきました事業計画の一部実施状況について報告、ご審議いただくこととなっております。限られた時間ですがよろしくお願いたします。



報告事項① 第8回「地球温暖化防止キャンペーン」の実施結果

今年度も、環境に優しい交通機関である鉄道に活動の基盤を置く公益法人として「地球温暖化防止」という公共性、社会性の高いテーマで、鉄道広告キャンペーンを継続して実施することで、

(1) 鉄道広告の持つ高い視認性とネットワーク力を活かして、環境問題に対する社会的警鐘を鳴らし、より豊かな社会の実現に寄与する。

(2) 全国の鉄道会社が行っている環境保全へ向けての積極的な取組みを支援し、CO₂排出量の少ない社会の実現に寄与する。

ことを目的とし、8月1日(金)～8月31日(日)の期間、全国各地の鉄道駅および鉄道車両に延べ枚数約50万枚のポスターを集約的に一斉に掲出し、キャンペーンを展開した。

引き続き、キャンペーンにアーティストとして参加、毎年ビジュアルを提供してくださる大津英敏理事から発言があった。

大津英敏理事

日本芸術院会員の活動の一環として、一昨年から文化庁主催

の「子供 ユメ・アート・アカデミー」にこのポスターを活用して参加しています。今年は、北は岩手から、南は奄美大島の隣の加計呂麻島や種子島までこのポスターを持って学校を回りました。

前もって各学校に、中づりポスターを掲示してもらい私が訪問します。そこで子供たちに、「虎の絵はこのパステルで書いていますよ。でも絵を描くだけではなく、地球温暖化防止についてもお話しさせてください。虎も人間と同じように自然の中で生活ができるようにしましょうね」というようなキャンペーンの趣旨などお話ししながら授業を行います。今年は、朝日新聞社や、ローカル新聞社から取材がおいでになって、新聞にも取り上げていただきました。

加計呂麻島や種子島、隣の奄美大



大津英敏理事とポスター「パリを往く」

島には鉄道が走っていませんので、こんなに大きなポスターが貼られているのを見たことがないということ、大変興味を持ってもらえたようです。今年で8回目のキャンペーンですが、私はその内6回虎をモチーフにしていますので、「虎の天津」と呼ばれております。

また来年もよろしくお願いいたします。

「地球温暖化防止キャンペーン」は来年度も引き続き実施の予定なので、ご協力をお願いしたいと今木議長から発言があった。

報告事項②
「2014交通広告ビジネス概論」の発刊

10月に改訂版が発刊された「2014交通広告ビジネス概論」についての以下の説明があった。



小野寺人材育成委員長

人材育成委員会では、鉄道広告業界の人材育成を目的に活動しており、その中でセミナーや研修等を通じた活動を主体としており、「交通広告ビジネス概論」の発刊もその目的を達成するための重要な施策と考えている。

この本は、交通広告に携わる方々が業務上必要な情報のみならず、歴史等様々な側面から知識を得ることを目的に、2011年度版以来3年ぶりに内容を一新し発刊したものである。

編集作業は7月22日から開始し、完成は10月10日と準備期間が短かったが、最終ページ奥付のワーキンググループをはじめ、編集委員のメンバーには精力的に活動、ご協力いただき、本当にありがとうございました。

これがあれば、交通広告の隅から隅まで非常によくわかるという1冊なので、新人教育など様々な場面で会員各社には是非ご活用いただきたい。

改めて、事務局と編集委員の方に御礼申し上げます。

○活用状況

・全会員社（326社）に送付
10月14日（火）

・近畿・中国・北陸支部

実務研修会テキストとして活用
10月14日（火） 100部

・首都圏支部
実務研修会のテキストとして活用
12月3日（水） 100部

・追加配布希望の会員社
11月27日現在 14社 165部

報告事項③
新「e-販促システム」の稼働状況

新「e-販促システム（JAFRA ADS）」について、田之上専務理事から4月の稼働当初に若干のトラブルが発生したが、現在は順調に稼働している、その後の稼働状況と、来年度に向け、システムの改修を予定しているとの説明があった。

また、今木議長から、引き続き、有料会員の拡大についての協力をよろしくお願いしたいと発言があった。

○稼働状況

・6月20日（金）
新e-販促システム操作説明会の開催（東京）
参加42社84名

・6月23日（月）
操作説明会の開催（大阪）
参加28社37名

e-販促システム
月別ログイン数

	会員	一般	計
6月	3157	215	3372
7月	3256	69	3325
8月	1830	40	1870
9月	1973	12	1985
10月	1955	27	1982

現在月約2000件のアクセス数で順調に稼働し推移しています。

・大宣伝告(株)（近畿・中国・北陸支部）、(株)ラドフィック、(株)文協、(株)アサソーディ・ケイ（首都圏支部、3社）の4社が入会
会員数現在76社

○システムの改修

新システムの稼働にともない、会員各社に有効活用していただくことを目的に、操作説明会において実施したアンケート結果及び会員から寄せられた要望を基に、毎月開催している編集委員会でも来年度のシステム改修の内容を議論した。

1. 改修内容

・[Station AD Planner]

- ① 逆引き及びダイレクト検索機能追加
- ② 媒体の追加（SP媒体、大型ボード）
- ③ 共同媒体の検索方法の変更

- ④ 到達人員／乗降者数／施設データ等の調査年月日／ポリシーを明記
- ⑤ 施設データの収録距離の修正
- ⑥ 施設データの追加（現在190業種に10業種追加）

・「Train AD Planner」

- ① 路線図の追加（福岡地区、札幌地区）
- ② 到達人員／乗降者数／施設データ等の調査年月日／ポリシーを明記

2. 改修時期

2015年4月使用開始予定

3. 改修費用

約200万円

（e：販促会員の会費から充当）

報告事項④

アカウンタビリティ向上の進捗状況

「アカウンタビリティ向上」について、2014年6月の第1回理事会以降の進捗状況の報告があった。

阿部理事

今年も11社会の皆さまにもご協力いただき、第2回目の調査が終了している。これで12年度からの3回の調査が終わり、データもそろってきただけで、いよいよ推定モデルの作成に入るところである。指標の作成に当たり、委員会のプロジェクトでは、



阿部理事

これまで20回近く議論を重ね、先ほどの説明のとおり、アド協、広告業協会にも報告して、アド協の久保田委員長からはよくここまでやっていただいたと評価もいただいております。後日改めて説明をいたしますが、まずは汎用性のある推定値を作るということが年内に行われます。それから3月にはそれを発表いたしますが、プレスリリースもこれから着手いたします。システムに関しても現在進行していますが、これは、仕様は作ったけれども皆さまが使っていないということでは意味がありませんので、今後またご協力をいただければと思っております。

1. 交通広告共通指標策定調査の報告

平成24年度実施の実証調査及び平成25年度、26年度の本調査実施後の結果について、交通広告共通指標推

進プロジェクト内で結果報告をするとともに、外部団体に説明。

9月5日（金）

① 交通広告共通指標推進プロジェクト結果報告

今木会長、アカウンタビリティ向上委員会委員長、副委員長をはじめとする共通指標推進プロジェクトメンバーに結果を報告

9月16日（火）

② 関東鉄道広告協議会（11社会）企画部会への報告

・ 2014年度調査結果の説明
・ 報告書及びクロス集計表の納品

10月1日（水）

③ 日本アドバイザーズ協会（JAA）への報告

久保田SP広告委員長中心に報告

10月9日（木）

④ 日本広告業協会（JAAA）への報告

小野寺交通小委員会委員長、吉野メディア調査小委員会委員長、白土副委員長中心に報告

2. 今後の予定

〈指標策定スケジュール〉

・ 平成26年9月～11月
数量化一類分析作業

・ 平成26年12月
共通指標推定モデルプロジェクト内報告

・ 平成27年3月

交通広告指標推定システム発表、稼働

* プレスリリースの内容と時期については検討中。

3. 交通広告指標推定システム（仮称）

共通指標推進プロジェクトでは、今年度分の実証調査も終わり、3年間のデータを基に、現在「共通指標」の分析作業中である。「共通指標」の策定することだけが目的ではなく、業界全体で利用することが必要と考え「交通広告指標 推定システム」（仮称）を㈱ビデオリサーチと協力しながら開発し、来年度からの稼働を目指している。

① 推定システムの概要

・ 「交通広告共通指標推進プロジェクト」で策定した「共通指標」を使用し、ユニット毎の推定広告到達率の算出ができる新しいシステム

・ インターネット経由で利用できるwebベースのシステム

・ JAFRA会員社、JAAA会員社が活用できる登録制のシステム

・JAFRAホームページ上にリンクバナーを開設予定

② 推定システムの利用料金(案)

推定システムを運用・管理するために、登録会社から利用料金を収受したい。

a. 実証調査費用を負担している関東交通広告協議会メンバー(18社) ↓無料

b. JAFRA会員社でa.のメンバー以外の会員社及びJAAA会員社 ↓年額5万円

*ユニット毎の「到達率」から、さらに「到達人数」まで必要な登録会社について、左記のような対応を検討している。

推定システムには「推定到達人数」算出用データとして、(株)ビデオリサーチと別途契約することにより「SOT/O/e x」の搭載が可能。
なお、他のサーキュレーションデータの入力も可能。

報告事項⑤
支部の活動状況

平成26年6月27日 定期総会後の
主な活動状況は次のとおり。



理事会

(1) 北海道支部

・ 7月29日(火)
媒体連絡会 15社22名

・ 8月

第8回地球温暖化防止キャンペーン
・ 11月20日(木)・21日(金)
名古屋駅媒体視察研修会 8社10名

* 9月30日付でジェイ・アール函館開発(株)が退会

* 正会員300社 賛助会員26社
全326社

2014年10月1日現在

(2) 東北支部

・ 8月
第8回地球温暖化防止キャンペーン
・ 12月中旬

セミナー(デジタルサイネージ関係)
連絡会・懇親会開催

(3) 首都圏支部

・ 7月25日(金)

支部定期総会

ホテルメトロポリタン池袋

幹事会

セミナー 37社132名

講師・花玉(株) 本間 充氏

・ 8月

第8回地球温暖化防止キャンペーン

・ 12月3日(水)

交通広告実務者研修会

ジェイアール東日本企画会議室

研修内容

① 交通広告の概要と実務

② 交通広告の展開事例

③ 交通広告の倫理綱領、掲出基準

④ 交通広告の掲出・撤去時の安全対策

⑤ 交通広告共通指標推進PTの活動

(4) 中部支部

・ 7月22日(火)

支部総会

レセプションハウス名古屋通信会館

26社45名

セミナー 26社90名

講師・カゼプロ(株)戸練直木氏
演題:「勝てる広告営業」

・ 7月~12月

交通広告イントーン・調査研究

6社12名、学生15名

協力連携・南山大学

交通広告概要説明

講義(デジタルサイネージメディア、

クリエイティブ、営業、メディアア

ランニング)

広告業界の若手社員との意見交換会

デジタルサイネージ制作

プレゼンテーション

「シリーズ・アド・名古屋ビジョン」

での作品放映

・ 8月
第8回地球温暖化防止キャンペーン

(5) 近畿・中国・北陸支部

・ 7月18日(金)

支部総会

大阪マリオット都ホテル 39社40名

幹事会

セミナー 演題:あべのハルカスの

開発計画

講師:近畿日本鉄道(株)あべのハルカ

ス事業本部部长 中之坊 健介氏

・ 8月

第8回地球温暖化防止キャンペーン

・ 10月14日(火)

交通広告実務研修会開催 毎日インテ

シオ 32社72名

研修内容

26社90名

セミナー

① 交通広告の最新事例
 ② 「交通広告共通指標推進プロジェクト」の活動について

(6) 四国支部

・ 8月

第8回地球温暖化防止キャンペーン

・ 11月5日(火)

第2回役員会

(株)ジェイアール四国企画 会議室

5社6名

・ 平成27年1月22日(木)～23日(金)

(予定)

視察研修会 名古屋駅の「広告媒体と商業施設」の視察

(7) 九州支部

・ 8月

第8回地球温暖化防止キャンペーン

・ 11月28日(金)

支部運営会議

・ 12月12日(金)

支部総会 JR博多シティ大会議室

その他

今後のスケジュール

〈理事会・総会・年賀会〉

平成27年「広告界合同年賀会」

日時：平成27年1月7日(水)

15時30分～17時00分

会場：帝国ホテル本館2階「孔雀の間」

共催団体：広告関連29団体

平成26年度第3回理事会
 日時：平成27年3月11日(水)

15時30分

会場：(株)ジェイアール東日本企画

10階大会議室

予定議案

・ 平成27年度事業計画(案)

・ 平成26年度収支決算(見込)及び

平成27年度予算(案)

・ その他

平成27年度第1回理事会

日時：平成27年6月10日(水)

13時30分

会場：(株)ジェイアール東日本企画

10階大会議室

平成27年度定期総会

日時：平成27年6月29日(月)

会場：ホテルメトロポリタン エドモ

ント(飯田橋)

定期総会

セミナー

懇親会

14時00分

16時00分

17時30分

以上を以て今本議長は、14時30分「平成26年度第2回理事会」の閉会を宣言した。

倫理委員会

委員会便り

第5回「鉄道利用マナー啓発キャンペーン」の実施について

2月1日(日)より、国交省との連携による「ひと声マナー」始めようをテーマとする鉄道利用マナーキャンペーンが開始となります。今回も80を超える鉄道事業者にご協力いただけることになり、全国の中吊り、駅貼りをはじめ、沿線の小中学校などの教育機関へも、駅などを通じて配布に協力をお願いしている。キャンペーンを通じて鉄道利用者に鉄道利用空間をよりよく過ごしていただけるようにしていきたい。

△趣旨▽

交通機関を利用する弱者への配慮を



駅貼り(B1、B2)ポスター



中づり(B3)ポスター

目的とする「ひと声マナー」キャンペーンを継続して実施

△期間▽

2015年2月1日(日)

～4月30日(木)

△参加鉄道会社▽85社

△ポスター種類▽

- ① ホーム転落防止
- 「目の不自由な方に配慮する」(青)
- ② 優先座席利用
- 「妊婦、乳幼児連れの方等に配慮する」(緑)
- の駅貼り…B1、B2
- 中づり…B3

首都圏支部

交通広告実務研修を 開催しました

12月3日（水）、ジェイアール東日本企画の会議室で、今年も交通広告に関する実務の基礎を学べる「交通広告実務研修」を開催しました。

この研修は、交通広告に携わって日の浅い若手社員を対象とするもの

で、支部各社より総勢73名の皆さまに参加いただきました。

冒頭、小暮和之首都圏支部長より、左記のような挨拶がありました。

カリキュラムと講師は次のとおり。

10時00分～

交通広告ビジネス概論

講師・金沢 一幸氏

(株)メトロアドエージェンシー

営業本部営業推進局 媒体第2部

① 交通広告の変遷



小暮和之支部長挨拶
本日の研修は50名の定員募集と聞いておりましたが、70余名とこんなに大勢の皆さんに参加していただいで非常にうれしく思います。終日の研修で講師の方から色々な話がありますが、今日1日聞いたからもう全て分かったということではもちろんありません。研修を受けている時は一生懸命聞いているけれど、その後二度とテキストを開かないという、私自身もそういう経験があります。みなさんの手元に「交通広告ビジネス概論」が配られていると思いますが、これは今年3年ぶりに改訂した最新

版です。今日のみなさんは非常にいいタイミングで研修を受けることになりましたので、後でゆっくり熟読吟味し、分からないところは先輩等々に確認し、しっかり勉強して自分のものにしていただきたいと思えます。交通広告の世界も、非常に奥深いものがありますので、是非そういう心掛けでお願いしたいと思えます。



金沢一幸氏

② 交通広告の種類・名称

③ 交通広告の特性

④ 交通広告の動向

⑤ 交通広告の業務フロー

⑥ 交通広告の今後

11時00分～

交通広告の展開事例

講師・稲葉 朋江氏

株式会社ジェイアール東日本企画

OOHメディア局OOHメディア第2部

① 空間ジャック

② 世界観

③ 意外性



稲葉朋江氏

④ 素材・変形・立体

⑤ 音

⑥ 香り

⑦ ピールオフ

⑧ タレント

⑨ 駅の施設を利用

⑩ デジタルサイネージ

13時10分～

交通広告における審査と倫理基準について

講師・藤村 直子氏

(株)ジェイアール東日本企画

交通媒体本部審査部



藤村直子氏

1. 事例紹介

2. 交通広告の特徴

3. 日本鉄道広告協会倫理綱領と
掲出基準の役割

4. まとめ

14時10分～

交通広告の事故防止



加藤潔氏

講師・加藤 潔氏

(株)ジェイアール東日本企画

交通媒体本部設備・安全対策部

交通広告における安全対策

作業責任者登録制の経緯

広告作業における安全管理体制

各種事故防止対策会議等

作業責任者の任務

各種事例紹介

15時10分～

交通広告共通指標推進プロジェクトについて

講師・白土 栄次氏

(株)オリコムコミュニケーションズ

イン局チーフディレクター

1. これまでの経緯と進捗状況



白土栄次氏

2. 交通広告共通指標の考え方
 3. 共通指標調査の実際
 4. 共通指標調査の集計結果
 5. Q&A…よくあるご質問
- 当日の様子はDVDに収録しましたので、他の支部での勉強会にご利用ください。

九州支部

九州支部総会を開催しました

12月12日(金)、JR博多シティ会議室において、九州支部会員と賛助会員併せて30名が参加し平成26年度JAFRA九州支部総会を開催しました。

水野九州支部長、加峯、渡辺の両副支部長の挨拶の後、九州支部事務局より平成26年の活動報告、会計報告、平成27年度の活動計画の審議内容の説明があり、了承されました。



挨拶する水野支部長

総会の後に開かれた懇親会に出席された皆さまは、和やかに談笑され親睦を深められていました。
当日ご出席いただいた会員社の皆さま、お忙しいところをありがとうございました。



挨拶する加峯副支部長

1. 九州支部総会
17時00分～17時45分
会場・JR博多シティ10F
「会議室A+B」

- ①開会挨拶 JAFRA九州支部 水野正幸支部長
- ②役員挨拶 加峯辰美副支部長 渡辺文雄副支部長
- ③九州支部会員会社等紹介
- ④平成26年度活動報告 平成26年度会計報告 平成27年度活動計画
- ⑤閉会

2. 九州支部懇親会
18時00分～19時30分
会場・JR博多シティ10F
「ワインスタイルぶどうの樹」

東北支部

支部総会を開催しました

12月16日(火)メトロポリタン仙台において、平成26年度東北支部総会を開催しました。当日は12社27名が参加し、若生東北支部長の挨拶の後、議題の審議に移り、それぞれ承認されました。また総会に引き続き、(株)ジェイアール東日本企画交通媒体本部デジタルサイネージ推進センターセンター長 山本孝氏をお招きし、「東日本エリア及び仙台駅のデジタルサイネージ展開について」と題したセミナーを開催、出席した会員の方は熱心に耳を傾けていました。

〈総会〉

- 審議内容
- 平成25年度東北支部事業報告
 - 支部総会の開催
 - 支部セミナーの開催
 - 新規会員の入会



支部総会で挨拶する若生支部長

今年も広告関係30団体による「広告界合同年賀会」が1月7日(水)、東京都千代田区の帝国ホテル「孔雀の間」において開催され、2015年が幕を閉じました。

始めに、全日本広告連盟大平明理事長、日本新聞協会白石興二郎会長、日本民間放送連盟井上弘会長、日本雑誌協会石崎孟理事長、日本雑誌広

合同年賀会を開催しました

事務局からのお知らせ



セミナーで講演する山本氏

・地球温暖化防止キャンペーンの実施
 セミナー
 「東日本エリア及び仙台駅のデジタルサイネージ展開について」
 ・交通広告の特性とニーズ
 ・デジタルサイネージの現状
 ・仙台駅エリアにおけるサイネージの現状
 ・仙台駅エリアにおけるサイネージの今後の展開計画



鏡開き

告協会高橋基陽理事長、日本屋外広告業団体連合会高橋公比古会長、日本広告業協会高嶋達佳理事長が登壇し、鏡開きが行われました。続いて挨拶にたった全日本広告連盟大平明理事長は、「今年の干支の乙未は、うちとけあっていい花園になる、羊という字は木が育っておおきな枝になる、これは unnecessary 枝を切って立派な木に育てるという意味が含まれています。60年前の1955年は、いわゆる55年体制という安定した政治が始まった年で、世界で初めてソニーがトランジスタの量産を開始し、トヨタはクラウンを発売し、電気釜が発表され、TBSが開局したというように、新しい産業技術が始まった年です。今年も、日本製の新しい商業型飛行機が飛び、水素で走る自動車が発売されるという、新しい色々な業種が出てくる年になるのだろう



「エイエイオウ！」と声上げる全日本広告連盟大平明理事長

と思います。そこから新しい商品を探し出し、広告の元気で日本を盛り上げ元気にすることができ、今日は皆さん一緒に鬨の声を挙げましょう。」と呼びかけ、今年もエイエイオウの掛け声とともに、こぶしを突き上げて乾杯が行われました。

当日は主催者発表で昨年よりも多い1600名余りが出席し、賑やかな江戸囃子をBGMに縁起物の獅子舞やひよつとこが練り歩く場内では、あちこちで新春の挨拶が交わされていました。

年始のお忙しい中ご出席いただきました会員社の皆様には、この場をお借りしてお礼を申し上げます。

また毎年気の早いご連絡をいたしますが、2016年は1月6日(水)同会場での年賀会開催が決定しておりますので、会員の皆様のご参加をお待ちいたしております。

編集後記



建設中の北陸新幹線停車駅シリーズ第2弾、長野駅です。木造の柱が並び、大仏殿のような趣があるように思うのですが、お寺がモチーフになっているのでしょうか。駅のデジタルサイネージにも興味がありますね。3月14日の開通まであと1か月半になり、金沢兼六園にはその時期も雪が残っているのかな？ 風情があっという間にと想像しています。皆さまの春の楽しみ教えてください。



●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。
information@j-jafra.jp

●会員社の代表者が変更になった場合など、変更届はホームページ (<http://j-jafra.jp>) の「各種届出書類」に用意してございますので、ご記入の上、事務局宛にお送り下さい。ご協力お願いします。

●次号Vol.29は4月1日発行予定です。お楽しみに。